

# あかけら

No.352



2018. 3

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



# あかげら

# 3月号

も く じ

- 
- 01 縦走路「私の今」 佐々木テイ子  
02 今後の日程（事務局）
- 
- 03 今後の山行計画
- 
- 06 運営委員会報告  
08 事務局から  
09 専門部報告  
●山行管理委員会  
09 行ってきました！
- 
- ▲山行報告  
11 癒しの山 桐の木沢山 松田 希  
13 八幡平の樹氷を見るスキーツアー 村田 真司  
14 山伏岳 三浦 良夫
- 
- 16 ある日ある時 “<答えのない答え>” 淡 望天  
19 交流の広場

## 私 の 今

No.8 佐々木 テイ子

政治や権力やお金に支配されない働く人たちの民主的な山の会を求めて、盛岡山友会に入会し 31 年になりました。入会した頃は、山の知識が全くありませんでしたが、いろいろ教えていただき、休みに山に登るのが楽しく、県内外、冬山、海外の山へと行くことができました。たくさんの仲間とも出会うことが出来、山の会に入会して本当に良かったと思いました。

でも、だんだん仕事が忙しくなり休暇もとりにくくなって、思うように山に行けなくなりました。早く定年になって行きたい時にいつでも行ければいいなと思ったものです。

ところが、待ちに待った定年を迎えて、やっと山三昧の日々を送れると思いきや、世の中そんなに甘くありませんでした。

年金生活者になり暇はあるがお金はなしで、少ない年金では生活がやっとで、山や旅行などに行く余裕がありません。そこで、農家のバイトを始めました。また、まわりに高齢者が増え、農家の手伝いをしなければならない状況で、定年から 10 年経ちましたが、いまだに山には年、数回しか登っていません。

働くことは嫌いじゃないのでそれなりに気持ちがいいですが、私も、70 歳になり先が短くなってきましたので、これからは自分のやりたい事を優先したいと思います。幸い農作業をしているせいか体調もよく、たまに登山してもまだ登れる気がします。2 年前から始めた卓球も楽しいし、冬はスキーと、この 3 つは生涯スポーツとして続けたいと思っています。毎日体を動かし、ほどほどに晩酌を飲むのが楽しみです。

私の人生の縦走路も終盤に入りましたが、山の縦走路と同じで、これから、山あり、谷あり、きびしいでしょうが、一步一步乗り越え、そして、楽しんで、悔いのないよう歩いて行きたいものです。

私の今は、その様な状況ですが、最初、数人で設立した「盛岡山友会」も立派な組織に成長したことを嬉しく思い、私もついて行きたいと思っています。例会、行事にはほとんど参加しないで申し訳ありませんが、仲間のみなさん、どうかこれからもよろしく願います。

# 今後の日程 (2018/4/1～2018/5/4)

行 事		行 事	
4/1	3/26～4/1 No.234 古川 孝	18	水
日			
2	↑	19	木
月			
3		20	金
火			
4	◎第32回定期総会(勤労福祉会館)18:30～	21	▲乳頭山、秋田駒ヶ岳(銀世界)
水		土	
5	4/2～4/8 No.382 三浦明夫	22	▲岩手山(名山)
木		日	
6		23	月
金			
7		24	火
土			
8	▲万寿山(山行企画) ▲岩手山(銀世界)	25	◎4月例会(勤労福祉会館)18:45～
日	↓	水	
9	↑	26	▲万寿山(ウィーク)
月		木	
10		27	金
火			
11	◎運営委員会(勤労福祉会館)18:45～	28	▲月山、湯殿山(銀世界)～29日
水		土	
12	4/9～4/15 No.416 福山茂和	29	▲羽山～羽黒山/月山(四季)
木		日	
13		30	月
金			
14	▲焼石岳(銀世界)	5/1	火
土			
15	▲硯上山(山行企画)	2	水
日	↓		
16		3	木
月			
17	☆第1回常任理事会(県連)	4	金
火			

- ◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)
- ◆山行管理専用アドレス: morioka\_yamakan@freeml.com

# 今後の山行計画

\* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 万寿山 410m			企画	山行企画部
実施日	4月 8日(日)	地形図	(1/25000)	
目的	岩手で一番早い花を見に行きましょう			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	台温泉から周回します。セリバオウレンやミスミソウが見られると思います。帰りに温泉に入ってください。			
締切り	4月 1(日)	打ち合わせ	4月 2日(月)おでって2F 18:30	
問合せ	熊谷久美子 連絡先::TEL 080-5228-6907			

【山域/ルート】 岩手山 2038m			企画	グループ銀世界
実施日	4月 8日(日)	地形図	大更、篠崎、姥屋敷(1/25000)	
目的	スキーで岩手山を登る			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(積雪期):★★	
コメント	岩手山を相の沢から登る。			
締切り	3月 31日(土)	打ち合わせ	4月 5日(木)	
問合せ	三浦明夫 連絡先::TEL 090-1069-2333 メール可			

【山域/ルート】 焼石岳 1548m			企画	グループ銀世界
実施日	4月 14日(土)	地形図	焼石岳(1/25000)	
目的	ロングコースを滑る			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(積雪期):★★	
コメント	春スキーを楽しみます。			
締切り	3月 31日(土)	打ち合わせ	4月 5日(木)	
問合せ	三浦良夫 連絡先::TEL 019-663-8668 メール可			

【山域/ルート】 硯上山 520.2m			企画	山行企画部
実施日	4月 15日(日)	地形図	雄勝・女川(1/25000)	
目的	東北百名山			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	時間がありましたら、復興の女川町に寄ってきます			
締切り	4月8日(日)	打ち合わせ	4月9日(月) 18:30	おでって2F
問合せ	千田勝則	連絡先::TEL 019-635-0201		

【山域/ルート】 乳頭山、秋田駒ヶ岳 1478m、1637m			企画	グループ銀世界
実施日	4月 21日(土)	地形図	乳頭山(1/25000)	
目的	乳頭の山頂から駒ヶ岳までスキーで			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(積雪期):★★★	
コメント	乳頭、秋田駒ヶ岳からの眺望を楽しむ			
締切り	3月31日(土)	打ち合わせ	4月5日(木)	銀世界定例会
問合せ	小原 耕	連絡先::TEL 090-6250-0864(メール、SMS)		

【山域/ルート】 岩手山 2038m			企画	岩手名山歩こうかい
実施日	4月 22日(日)	地形図	大更、篠崎、姥屋敷(1/25000)	
目的	春山トレーニング			
難易度	歩行:★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	まだ雪山だと思うので行ける所までにします。			
締切り	4月14日(土)	打ち合わせ	4月18日(水)18:30	おでって2F
問合せ	遠藤千鈴子	連絡先::TEL 080-1817-1506		

【山域/ルート】 万寿山 410.1m			企画	ウィークデイクラブ
実施日	4月 26日(木)	地形図	花巻温泉(1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	春を告げる花の山へ行ってみましょう。			
締切り	4月19日(木)	打ち合わせ	4月23日(月)18:30	おでって2F
問合せ	工藤敬子	連絡先::TEL 019-635-3203 FAX可		

【山域/ルート】 羽山～羽黒山 / 月山 600m			企画	四季の山
実施日	4月 29日(日)or 30日(月)	地形図	和賀仙人(1/25000)	
目的	和賀三山に登る			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	イワウチワ、カタクリ等を鑑賞しながら三山を歩きませんか。 歩行時間は7～8時間位です。翌日4月30日を予備日とします。			
締め切り	4月21日(土)	打ち合わせ	4月23日(月) おでつて2階 18:30～	
問合せ	本間 典 連絡先::TEL 090-6782-2853 SMS歓迎			

【山域/ルート】 月山、湯殿山 1984m 1500m			企画	グループ銀世界
実施日	4月 28日(土)～29日(日)	地形図	湯殿山(1/25000)	
目的	月山・湯殿山を滑る			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(積雪期):★★★	
コメント	コース(予定): 姥沢～姥ヶ岳～湯殿山～姥沢 姥沢～姥ヶ岳～月山～姥沢			
締め切り	3月31日(土)	打ち合わせ	4月5日(木) 銀世界定例会	
問合せ	小原 耕 連絡先::TEL 090-6250-0864(メール、SMS)			

あかげら4月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部  
**No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) [mountfuru2@yahoo.co.jp](mailto:mountfuru2@yahoo.co.jp)**  
 までお願いします。締め切りは4月8日(日)です。  
 なお、フォーマットは会員専用 HP 左下の様式ダウンロードを御利用ください。

# 2017年度 第12回運営委員会報告

出席者確認(出席者数：16/23名) 2018.3.14(水)18:45～20:45 勤労福祉会館

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小田(嘉) 高橋(恵) 中村(数)  
松田(幸) 小原 千田 山田(潔) 小川 辰巳 渡部(彩) 岡(義) 大森

【進行：渡邊、記録：中村(美)】

## 1 会長あいさつ

- ・ 本日で総会に向けた議案書の検討を終えたい。
- ・ 暖かくなってきたので、雪崩などに注意して山行してほしい。

## 2 報告事項・確認事項

(1)現在の組織状況(3月14日現在)

会員数 102名(男56名/女46名) 登山時報 53部

新入会 No.482 那須 敦子さん 自然保護部

(2)各専門部等の取組状況

①山行管理委員会…ヒヤリ・ハット1件(栗駒山で滑落、ケガなし)

②教育遭難対部…3/21の雪洞訓練に現在15人申し込みあり

③県連…総会が終わりました。行事予定がたくさんあるので、会からもたくさん参加してほしい。

(3)その他報告事項

沖縄の労山「花いかだコザ」から来県の予定が来ている。

7月9日～12日 岩手山や早池峰山を希望している様子。できるだけ協力してほしい。

## 3 協議・承認事項

定期総会に向けて議案書の検討(主な事項)

- ・ 冬山入門講座に、ワカン訓練を新年山行に追加することに。冬山講座についての考え方は、  
(誤解もあったようなので)山行管理の部署に記載することに。
- ・ 初級登山教室について…日程→机上講座 5/27(日)、実技山行①鞍掛山6/10(日)、  
②三石山 6/24(日)、フォローアップ山行 7/22(日)岩手山(清掃登山と一緒に)  
(フォローアップ山行を教室案内に明示する)
- ・ 例会時の、プロジェクターでのスクリーン表示をやめて、参加者には冊子を配布する(印刷・製本の仕方によってコストが削減できることから)
- ・ その他、活動計画の日程について



- ・ 予算案について
- ・ 役員選出について…退任する方の希望
- ・ 専門部の人員の偏りについて…全員参加の会運営の原則の下に、本人希望だけでなく全体バランスを考えて分担をお願いすることも必要

#### ◆当面の予定

4月 4日(水) 第32回定期総会	4月 17日(火) 県連第1回理事会
4月 11日(水) 第1回運営委員会	4月 25日(水) 4月例会

#### ☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

### 原稿のお願い

4月号の原稿締め切り

◎ 4月7日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

### 原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内 又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10～12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

□ 送り先 ◎手書き原稿（郵送）

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス [k-kubo@mba.nifty.ne.jp](mailto:k-kubo@mba.nifty.ne.jp)

## 事務局から

### 第 32 回定期総会の開催について【重要】

盛岡山友会の第 32 回定期総会を以下の通り開催します。前年の活動総括と新年度の活動方針等を決めるもので、出席は会員の義務です。万障繰り合わせて出席ください。

止むおえず欠席される方は 3 月 28 日までに委任状を事務局に提出してください。

記

日時：2018 年 4 月 4 日（水）18：45～

場所：盛岡市勤労福祉会館

議題：2017 年度活動総括及び決算、2018 年度活動方針及び予算案ほか

#### ☆ 会員動向（3/16 現在）

会員数 102 名 男 56、女 46）登山時報 53 部（増減なし）

#### ☆ 会費納入について

- ・今年度の会費等（会費・遭対基金・登山時報代）について、未納の方は早めの納入をお願いします。会費の納入、前期は 4 月です。
- ・遭対基金（新特別基金）について、口数の変更は早めに、必ず会計担当の No, 140 石澤妙子に連絡してください。
- ・登山時報については、新規購読又は中止の場合は早めにお知らせください。

#### ☆ 3 月例会（本日）において会員名簿を回覧します。

- 名簿上の変更がありましたら**赤ペン**で訂正してください。
- チェックした方は **✓** を記入してください。
- 全ての会員は、どこかの専門部に所属することになっています。各専門部の人数が平均的になるよう皆様のご協力をお願いします。

本日の会場担当は 自然保護部です

4 月例会は 4 月 25 日（水） 18：45～

# 専門部報告

## ●山行管理委員会

### ■今年の春山について

今冬は寒波と大雪に加え急激な気温上昇に大雨も降るなど、雪山では雪崩や滑落などの事故リスクが高くなっています。本格的な春山となるこれからは、ブロック雪崩や朝夕の凍結などに十分な注意が必要です。

今月 3 日には岩手山の焼走りで1人の方が滑落と思われる事故で亡くなりました。また、夏油高原スキー場でも滑落死亡事故が起きています。

春山であっても、気象条件によっては冬山に逆戻りします。山行にあたっては、技術・知識、必要装備の点検に加え、無理のない計画とするよう心掛けてください。

### ■緊急連絡先の当番について

4月の定期総会で山行管理委員が決まるまで、緊急連絡先の当番順は従前のままとしますのでよろしくお願ひします。【4月第2週まで】

## 行ってきました!

[2月19日～3月18日現在]

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
1	2月19日	姫神山	城内口～冬期限定ルート～山頂～城内コース下山	冬期限定ルートに登る	L 松田(希)・高橋(英)	2	個人
2	2月19日	鞍掛山	相ノ沢コース(右回り)	トレーニング	L 太田代・S高橋(恵)	2	個人
3	2月20日	朝島山(矢幅)	中央コース～山頂～尾根コース	トレーニング	L 小田(嘉)・小田(春)	2	個人
4	2月22日	森吉山	阿仁スキー場～山頂往復	樹氷を滑る	L 古川・S山田(潔)	2	個人
5	2月23日 ～2月24日	八幡平	秋田八幡平スキー場～山頂往復	オオシラビソ植生！樹氷原を歩く	L 岡(義)・S高橋(恵)・太田代〔会員外〕15名 ※八幡平ビジターセンター主催	3	公募 (公的機関)
6	2月25日	鎌倉森 (1,316m)・ 犬倉山 (1,407m)	網張ビジターセンター～鎌倉森～犬倉山往復	鎌倉森スノーシューを楽しむ	L 渡邊・石原	2	個人
7	2月25日	八幡平	旧八幡平スキー場～山頂往復	岩手側から八幡平を目指す	L 古川・S山田(潔)・大峠・松田(幸)・松田(希)・村田・久保〔会員外〕1名	7	会
8	2月25日 ～2月26日	平庭岳・遠別岳・安家森	平庭峠～平庭岳～遠別岳～安家森～袖山駐車場往復	展望鑑賞	L 辰巳	1	個人
9	2月27日	御月山 (954.4m)	安比高原～山頂往復	冬期限定の山へ	L 本間(典)・S加藤(桂)・小田(嘉)・小田(春)	4	個人
10	2月27日	河原ノ坊	岳～河原ノ坊往復	トレーニング	L 福山	1	個人

# 行ってきました!

[2月19日～3月14日現在]

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
11	2月28日	鞍掛山	相ノ沢P～岩鷲の滝往復	冬限定の滝を見る	L古川・高橋(英)	2	個人
12	3月3日	栗駒山	いこいの村駐車場～山頂往復	山頂からの大パノラマを滑る	L大峠・S三浦(良)・三浦(明)・小原(耕)・村田・舟越・古川	7	会
13	3月3日	田沢山・不動岳・東根山	秋津神社～田沢山～不動岳～東根山～ラ・フランス温泉	冬期志波三山縦走路の一部でラッセル体験	L本間(典)・S中村(数)・工藤(敬)・日比野・加藤(桂)・高橋(陽)・小田(嘉)・小田(春)・大倉	9	会
14	3月7日	東根山(928.4m)	ラ・フランスコース	展望の良い頂上の吹き溜まりを超えて頂上へ	L岡(義)・S吉田(成)・高橋(恵)・太田代・佐々木(善)	5	個人
15	3月7日	岩手山	七滝コース(不動平まで)	岩手山七滝コースの下見	L古川・S大峠	2	個人
16	3月10日	山伏山	泥湯温泉～河原毛～山伏山往復	秋田の雪を滑る	L久保・S松田(幸)・S松田(希)・三浦(良)・大峠・杣澤	6	会
17	3月11日	鎌倉森	網張ビジターセンター～山頂往復	鎌倉森スノーシューを楽しむ	L石原	1	個人
18	3月11日	八甲田山	酸ヶ湯～大岳環状ルート	八甲田山樹氷を滑る	L山田(潔)・S古川・三浦(明)・村田・小原(耕)・渡邊(健)	6	会
19	3月11日	赤林山	矢巾温泉口～山頂往復	冬の里山に登る	L石澤・S日比野・工藤(敬)・熊谷(久)・高橋(陽)・小田(春)・加藤(桂)	7	個人
20	3月11日	東根山	ラ・フランスコース	トレーニング	L高橋(英)	1	個人
21	3月11日	尤部山(387.5m)、金成山(540.2m)	椴山集落～尤部山往復、いこいの森～金成山往復	里山に登る	L本間(典)	1	個人
22	3月12日	鎌倉森	網張ビジターセンター～山頂往復	トレーニング	L岡(義)・S小田(嘉)	2	個人
23	3月17日～3月18日	岩手山	網張スキー場～お花畑～山頂往復	雪の岩手山の頂上に登る	L古川・S山田(潔)・小原(耕)・村田・舟越・久保	6	会
24	3月17日～3月18日	下東山北側	谷地(東成瀬村)～県境尾根～P877往復	秋田県境を歩く(県境区間1.8km)	L辰巳・S中村(数)・加藤(桂)・小田(嘉)・小田(春)・本間(典)・大倉・高橋(陽)	8	会
25	3月18日	姥倉山・湯の森	網張スキー場～姥倉山～湯の森～松川温泉	松川温泉下り	L大峠・S三浦(明)・府金(志)・杣澤・武田(秀)	5	会
26	3月18日	矢越山	ひこばえの森～山頂往復	気仙海岸のシンボルに登る	L千田(勝)・S熊谷(久)・中村(美)・遠藤(千)・工藤(敬)・日比野	6	会
27	3月18日	岩手山	屏風尾根	冬期限定ルートを行く	L松田(幸)・松田(希)	2	個人
28	3月18日	鞍掛山	相ノ沢コース(右回り)	トレーニング	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください。



## 癒しの山 桐の木沢山

No. 294 松田 希

日程 : 2018年2月18日(日)  
天気 : 曇りのち晴れ 風強い  
参加者 : CL三浦良夫、SL古川孝、松田幸久、舟越茂雄、松田希  
行程 : 都南大橋P7:00発→桐の木沢口8:05→P1047 9:55→  
桐の木沢山10:35~10:50→昼食(コル)11:35~11:55→  
P1126 12:25→P1050 13:00→区界15:00

前日からテレビのニュースでは北日本は風が強く大荒れと騒がしい。18日の昼には風が収まる予報。今回は桐の木沢山から区界への縦走の計画。風が強そうなので桐の木沢山ピストンにしようかと集合場所で検討する。私は桐の木沢山は初めてなので事前に会の報告書を調べてみた。桐の木沢山ピストンはポツポツと記録があるが、桐の木沢から区界へとぬけた報告書は2008年まで遡ってやっと発見。銀世界10年ぶりのルートである。ネットで調べても縦走の記録は出てこない。貴重な計画、せっかくだから縦走したい。桐の木沢山山頂まで行ってみてどうするか決めては?との提案が通り、区界の集合住宅の脇に1台車をデポして桐の木沢口へ向かう。桐の木沢口の最終民家の方に挨拶をし(良夫さんがおみやげを用意していただき感謝!)車を止めさせていただく。

出発してしばらくは林道歩きである。林の中なので風はそれほど感じないが空を見上げると雲の流れが速い。山頂に着くまでに風がおさまってくれないかと何度も空を見上げながら歩く。交代でラッセルをして赤布を見つけながら登る。次第に霧氷がきれいになり、その上の青い空とのコントラストが美しい。「上に行くともっときれいだよ。」との古川さんの言葉にワクワクしながら登る。

桐の木沢山頂に着くと、早池峰山がくっきり見えた。この方向から見るとは珍しい。山頂から東側の斜面がいい斜面で滑ってみたいと思った。ここで記念写真をパチリ。さて、どうするか…?時間も余裕があり、この先の尾根にも木はあるので吹きさらしにはならないこと、次第に天候は回復する予報であることから、目出し帽等を全員が持っている事を確認して予定通り進むこととする。

山頂からシールをつけたまま少しの間ゆるやかに滑り下りた後は幅の広い尾根歩きとなり、地図コンパス・GPSで進路を確認しながら歩く。ここからが癒しの山であった。古川さんの言葉どおり、霧氷のついた樹々が美しく、赤布も無くなり人工物が何も見えない。

途中で可愛らしい小動物が私達の進行方向に走っていった。道案内をしてくれるのだろうか。着いていくと木に登ったので写真を撮ろうとすると、金色の毛の体に長い尾を持ち、キリリとした白い顔と目が合った。シャッターチャンス！と思った瞬間、私の人差し指が押したのはシャッターではなく、電源だった。残念～！帰宅してから調べたところ、テンだったと思われる。



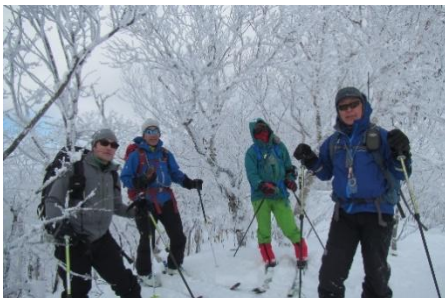
普段は人けのない山なので怖かったのだろう、その後猛スピードで逃げ去っていった。

予定通りコルにて昼食。この頃から次第に風が弱まり気にならなくなる。昼食後P1126まで登り返すと、その先に程よい斜面がありここでシールをはがすか悩む。ウロコ板の良夫さんからはもう少し先で外した方がよいのでは？と助言があったが、滑りたい気持ちもあり結局シールをはがす。ほんのひと滑り楽しんだ後、P1050をかわすのに苦労したのでもうちょっとガマンだったかな…(^;) )

牧場に出ると兜明神と鉄塔が目印の岩神山が見えて今度は素晴らしい解放感。お楽しみの滑りタイム。斜度もまあまあ有り、ちょっとしたスキー場の斜面のようだ。滑りだけを楽しみたいならば逆から登るのも有りでしょうか。

その後は有刺鉄線を何度かかわし、もうすぐ下山という気分になってくる。意外にここからのルートファインディングに悩まされた。再びシールをつけて、どこで川を渡るか、どこで線路を超えるかと皆で考えながら歩く。普段は踏切以外で線路を越えることはないため、なんだかドキドキする。電車が行った直後なのでしばらくは来ないだろうと思っても、外したスキーを抱きかかえて急いで線路を越えた。

車をデポした区界の集合住宅に着いてGPSを見てみると、今日の移動距離は13km越え。次週の岩手側からの八幡平にむけてのトレーニングを兼ねての参加のつもりが、なかなかロングな山行だった。私は一度登ると満足して、同じ山に登りたいと思うことは少ないが、桐の木沢山はまた登りたいと思う山だった。雪がたくさん降るシーズンには、また美しい森へテンに会いに行こうと思う。







## 八幡平の樹氷を見るスキーツアー

日時：2018年2月25日 天候：曇り時々雪、後晴れ。風強く寒い

メンバー：CL 古川、SL 山田、大峠、松田(幸)、松田(希)、久保、会員外1名、村田(記)

行程：集合西根 I C 6:45…御在所 P 7:30/8:00… 恵比寿森 9:45… 黒谷地 10:40… 源太森…11:25 陵雲荘 11:50/12:45…茶臼小屋 14:00… 御在所 P 15:10…

2月10/11日と泊りがけの八幡平ツアーが、荒天のため中止となったので、リベンジのツアーとなった。松尾の最低気温が $-10.4^{\circ}\text{C}$ 、4号線はスケートリンクの様なアイスバーンとなり、かなり冷えこんだ朝となった。御在所のトイレには、雪崩や雪面クラックの注意情報が掲示されており、一瞬、緊張する。スタート時は、雲はすこしかかるも好天に恵まれ、樹氷への期待感が高まる。雪上車の最終到達地点以降も先行者のトレースがあり、靴ラッセルほどだがラッセルは避けられた。それにしても寒く、高度が上がるにつれ風も強くなってきた。風と寒さのため体温が上がらず、筋肉や関節がきしみながらの歩きであった。肝心の樹氷であるが、どうも雪の付着が良くない。源太森のエビの尻尾も小さく、一度落ちてしまったか、それとも今シーズンは冷たく乾いた雪が多く、成長しきれなかったためと思われる。

黒谷地からは、天気も悪くなり地吹雪が強くなってきた。凍傷にならないように顔を覆うため呼気でサングラスが曇ってくる。そのため視界も限られ、樹氷もイマイチで気分も減入ってくるが、ありがたい事に小屋があるので、そこに退避して温かいものを飲み、ようやく一息つく事ができた。小屋での昼食後、天候が芳しくなく樹氷も期待できない事から、頂上まで行く予定をやめて、そのまま戻る事となった。八幡平はその名の通り平らなので、復路とは言ってもしばらくは滑る事もできず、むしろ、茶臼岳までは登り返しとなるので、なかなかつらい道を進む。

茶臼までくると、日も差してきてようやくテンションも上がり、皆の顔にも余裕が出てきた。あとは、シールを剥がしてのお楽しみタイムである。積雪量の割には固くパックされた雪面のため、一部苦労しながらの滑りとなったが、旧八幡平スキー場跡の急斜面は、今までの苦労を忘れさせるたまらない一瞬でした。これがあるからやめられません。今シーズンは寒く積雪量も例年以上のため期待された樹氷であったが、来年への持ち越しとなりました





## 山 伏 岳

323 三浦良夫

月日 2018年3月10-11日(土-日)

メンバー CL久保、SL松田(幸)・松田(希)、食当柚澤、会計大峠、記録三浦(良)

コースタイム 盛岡南IC(6:10)→泥湯温泉(8:00-8:35)→山伏岳山頂(11:55)

→昼食(12:50-13:10)→泥湯温泉(14:30-14:50)

→とことん山キャンプ場(15:30-3/11 10:00)→盛岡南IC(12:00)

山スキー山行としては、全員初山行であった。前日は大雨だったが回復し、当日は曇り空のまざるまざるの天気。6時すぎに盛岡南ICを出発し、高速秋田道に入ると前日の雨による雪解けで、周りの山々の斜面の至る所に亀裂が入っている。途中、トイレ休憩する場所も無く、2時間足らずで泥湯温泉に到着。駐車スペースはあまり無かったが、他に車は無く、除雪の終点に止めた。

スキーに履き替え、ビーコンチェック後、早速出発。登り始めは冬季通行止めの道路上を上がって行く。当初予定していたよりは手前の地点から山に取り付き、アイスバーンの急斜面を登り始める。地図を見て想像していたよりは起伏の激しい山で、トラバースできず大きく回り込んだりするなど、皆でああだこうだ言いながら、ルートファインディングを楽しむ。ラッセルは無い分楽だが雪面が固く、急斜面では時にはスキーを担いで登るメンバーも出るほど、スリップして登りにくい。

悪戦苦闘しながら登ってゆくと、途中からは傾斜も緩い尾根ルートに出、順調に高度を上げる。若干、雪も乗ってきたので、滑りも楽しみだ。頂上が近づくと風が強くなり視界も悪くなってきた。傾斜が緩く、見通しが効かないのでどこが頂上かわからない。gpsで確認しながらやっと山頂に達し、表示を探したが見当たらない。近くに立っている丸太のそばで記念撮影だけし、すぐに下山開始。シールを外せるところまで降り、そこから早速滑り始めた。

下りは途中に昼食をはさみながら、順調に滑りを楽しんだが、後半は時々アイスバーンの急斜面に手こずりながら高度を下げた。最後は登りの取り付きより大分手前の、川原毛地獄付近の道路に出、そこから道路上を快適に滑って程無く泥湯温泉に到着した。

そこから、車で小安温泉スキー場近くの「とことん山キャンプ場」のコテージに向かう。キャンプ場もあり、冬だというのに結構な人数の若者がテントを張り、キャンプを楽しんでいる。場内にある露天風呂で疲れを癒し、食当の柚澤さんが準備した焼き肉等のごちそうを頂きながら、皆で楽しく飲食した。

翌日は朝食にタコス料理をいただき、コーヒーを飲み、10時頃出発。昼頃には盛岡南ICに到着し、楽しい山行を終えた。





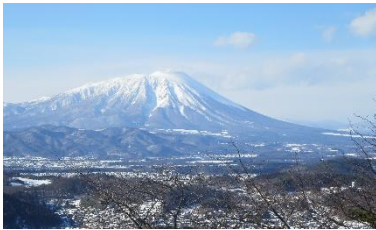
山伏岳山頂



川原毛地獄付近

## “答えのない答え”

ふるさとの山に向ひて 言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな



2018年1月29日 撮影(菊地)

この詩に出てくる<ふるさとの山>はなんという山でしょうか？答えは、岩手山？姫神山？どちらでもありません。<答えのない答え>が正解です。生まれも、育ちも違う人の<ふるさと>は人それぞれです。ある特定の山という答

えは無理。それぞれの人の心のふるさととなっている山。答えを一つにしてしまえば、特定のある人（たち）の<ふ

るさと>になってしまいます。この詩はどこの誰であれ、読む人の心を揺るがす力を持っています。その力の源は、<ふるさと>がこども時代という思い出や記憶だからです。「ふるさとは遠きにありて思ふもの」（室生犀星）のように、一人一人が幼少時に心に刻んだ<ふるさと>の山々は、百人百様の山でいい。

♪なんのために♪咲いてるのか♪（「花」秦基博作詞）という歌（<一人一人の物語>パナソニックのコマーシャル）がテレビで流されている。花でなく人に聞くとすれば、「なんのために生きるのか」でもいい。この「なんのために」に答えようとして<正しい>答えを出すでしょう。一番いい答え、一つだけの答えが見つかるだろうか。花も人も、生まれも育ちも環境も違うのだから、花も人さまざまな答えを言うだろう。いや待て、答えが一つの時代もあった。<お国のため>、<天皇のため>。これ以外の答えは非国民だった。一人一人の物語を否定する独裁政治の国や時代が過去にあった。今やそうじゃないと言えればいいのだが、今もあるから……。自分の答えと、すべての人の答えが一致するなら、答えは一つとなる。でもどう考えても、それはありえない。自分に対する答えが自分で納得する答えなのだ。となると、百人百様、どんな答えでもいいのだ。答えのない答えが<正解>。

学校に行くと、正しい答えの<勉強>をする。<正しい>答えは一つしかないと教わる。答えとは質問（問題）があって、それに答える。質問する人が納得した時、その答えは<正しい>。質問する人は先生。答えを知っている先生はいつも<正しい>、とはならない、先生も一人に人間だもの。

実際の世の中では、質問する人と答える人が同じなのだ。ロボットは自分自身には質問し

ない、いや、できない。指示されたことだけに答える。パソコンのネット検索もそうだ。必要なことばを打ち込むと、答えが並んで出てくる。だが、自分だけが持っている疑問、自分に関わる問題、これに答えるためには、自分で答えを探し、自分で納得できる答えが<正しい>となる。指示待ち人間（ロボット）には、答えのない答えとは出会えない。自分だけの答え、百人百様の答え、答えのない答えが実人生となる。

<なぜ山に登るのかーその山があるから>。答えになっていないことで有名な答えだ。質問者は<なるほどそうなのか>とはならない。はぐらかされたと思うだろう。たくさんの金と時間と命の危険を冒してまで、登山にはなんの意味があるのか。下界に住む人には分からない何かすばらしい体験が得られるのか。<そこに山があるから>は答えにならない。というか、答えのうちのもっとも簡単な答えだろう。そう簡単に答えが見つからないことは答える本人が一番よくわかる。登山の経験のない人に、一つの答えで納得させるのは無理だから。

質問者は山を知らない人だ。登山によって得られる至福の時間をどう説明するか。これは難しい。高山の花の色は強烈な紫外線を浴びることによって、平地では見られない色彩感を持つ、すばらしい色彩となるんだ。だから登山する。と科学的(?)な説明によって、<正しい>答えを出したとしよう。しかし、質問者が実際に登山して、その花を見ない限り、花の美しさは分からないだろう、と答える本人が分かっている。百聞は一見に如かず、が答えなのだから。あなた自身が納得したいなら、山に行き、実際に花を見てよ、となる。答えにならない答えが<正しい>のだ。山に登るとは、答えにならない答えを求める人生を生きることなのだ。

学校の宿題があった。答えが分からない。こういう時、兄や姉がその問題を解くには、ここをこうして、こうなるから、こうやって答えを出すんだ、と説明する。こちらは、早く遊びに行きたいから、早く答えだけ教えてよ、とじたばたしたことを思いだす。一つしかない答えを覚えるのが勉強だと思っていた。真理は一つのように答えは一つと教えられ、それでよかった。でも学校を卒業し、人生を始めると、答えのない答えばかりが目の前に広がる。もっとも、地球は平らでなく丸い。月にはウサギはいない。答えは一つ。科学という名で、人類によってもたらされた知が<正しい>答えを出している。ところが科学の力がまだまだ届かぬ場所がある。

神や仏は実在するのか。死後の世界は存在するのか。答えは、神仏も死後の世界も<無し>とはならない。神仏を信じる人には<在る>し、信じない人には<無し>。科学による答えがまだ出ていない。答えのない答えというのが<正しい>。分からないのだからどんな答えを出しても、間違いだとは言われない。人それぞれの生き方によってさまざまな答えとなっても、誰からも文句を言われない。



パスカル 考える葦

答えが見つからない時、人はどうするだろうか。答えを見つけようとする。そのためには頭を使う。つまり<考える>必要が起こる。答えのない答えにぶち当たった時、人は考えることを始める。人間は自然界の中では最も弱い存在だとパスカルは言った。ちょっとした風にも倒される葦のようなもの。でもただの葦ではない。<考える葦>なのだ。

これはすごいことなんだとパスカルはいう。動・植物と人間の分かれ目なのだ。もつとも、<考える>こと、答えのない答えという詩のことばを拒否したヒト（獣人）たちもいる。

そういえば<考える人>という題の彫刻（ロダン）がある。ロダンは<詩人>という名をつけたそうだ。後世の人が<考える人>と名に変更した。確かに、彫刻を見れば、<詩人>より、<考える人>の方が<正しい>ように見える。でも、ロダンは<詩人>と名付けている。どうしてだろう。一見して、銅像は<考える人>を示している。これぞ<正しい>。答



ロダン

詩人（考える人）

えは一つしかない。と決めつければ、ロダンの名付けた<詩人>は間違いとなってしまふ。では、なぜ<詩人>と名付けたのだろうか。人とは<考える葦>なのだ。詩人とは<人>であり、人であるから考える。考えるのは答えのない答えに敏感に反応する人なのだ。詩のことばとは、便利な道具としての答えではない。動植物やロボットではなく、人間であるための、人間に戻るための答えを伝えようとする。つまりそれは答えのない

答え。一人一人によりその言葉は詩的なことばでしか表せない。<ふるさとの山>の<ふるさと>のような、答えのない答えに出会うことこそ、答えを求めて悩み、考えている時だ。この無明の世界に光をもたらすのが、答えのない答えに反応する詩の心なのだ。人の心を取り戻すのは、一人一人のこころにより添う詩のことばに触れたとき、ヒトは人になる。

# 交流の広場

## ★ あかげら表紙の変遷 ★

(資料提供) No.19 中村美栄子  
 機関誌「あかげら」は今回の3月号で通算 No.352 となります。No.1 は二つ有り、結成(S61年9月)直後10月発行のNo.1は“MOUNTAIN JOURNAL”、S63年5月発行のNo.1は「盛岡山友会ニュース」です。同年、9月号No.5から現在の名称「あかげら」が使われるようになりました。10月号No.6で、あかげらの文字がデザインされ、今の表紙の文字の原形となっています。



盛岡山友会ニュース No.1

No.1~19は、B4縦1~4枚の新聞形式でしたが、H2年6月号No.20から冊子形式となり、初めて表紙絵が登場します。No.20~22の3回とNo.23~26の4回はそれぞれ同一のあかげらの絵が使われ、表紙絵が毎月変わるのはH3年1月号No.27からです。

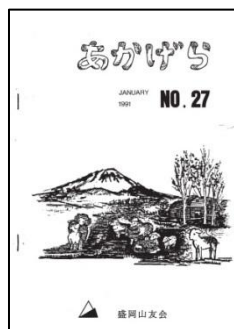


あかげら No.20 最初の冊子

表紙絵の制作者名は当初しばらくの間記載されていないため、記念すべき初期の製作者を紹介できないのは残念です。「表紙の言葉」が初めて記載されるのは、H4年9月号No.47ですが、言葉のみで氏名はありません。30周年記念誌でも紹介しましたが、表紙絵のカラー化は、H18年5月号No.211

からです。

みなさんも山ともサロン等で美栄子さん宅にいらした時はぜひあかげらの変遷を見てみませんか。今後も表紙が「あかげら」の顔になるといいなと思っています。(取材 Y.T)



No.27から表紙絵が毎月変わる

## 会報部員のひとこと

19年前、下太田の区画整理で自宅を建て替えた時に仕事机の前に岩手山を始め西側の山々全部が見渡せる窓を作りました。昨年3月、建設会社の本社ビルが自宅西側に隣接して建ちました。

その少し前に新築の家が2軒建って秋田駒ヶ岳が見えなくなり、本社ビルで岩手山も全く見えなくなってしまいました。今では笹森山付近の稜線が狭く望めるだけです…。



自宅屋根上から西側を展望

仕事をしながらいつも目の前に眺めていた、幸郷山~秋田駒ヶ岳~岩手山の稜線がすべて見えなくなり大変なショックを受けました。なんとかしなくてはと思い、現在、東西南北4方向へ屋根の天窓工事を計画しています。今年中に岩手山と360°の山並みが眺められればいいなあと今から楽しみにしています。

私事になりますが、家の事情で3月末で会を離れます。H20年12月から10年間皆様にいろいろとお世話になりました。‘会報部員のひとこと’の担当月をお借りしてお礼申し上げます。(和司)

— 「私と劔岳」 —

2014年9月12～15日、県連主催の劔岳に登った。  
岩場や鎖場が多くヘルメットを着用し、スリング、カラビナ装備で登る。

憧れの山の為、日本中から登山者が集まり、カニのタテバイでは、1時間待ちの状態だった。山頂には祠があり、360°、鋭利な山々に囲まれた雄大な景色を見ることができた。カニのヨコバイでは足が届かず怖い思いをした事が、思い出に残っている。

No.256 中村 数博

あかげら 第352号

2018年3月28日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 辰巳和司

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

盛岡山友会のホームページ

[http://www.geocities.jp/morioka\\_sanyukai/](http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/)

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～